

はう	サブエントリ番号- #01	
表記		這 (は) う, 匍 (は) う
分類		重要動詞 1 2 1
意味情報	意味記述	地に体を吸い付けるようにして少しずつ進む。
	上位語	移動する
	類義語	這い回る
	<国分>分類名称:分類番号	走り・飛び・流れなど, 足の動作 : 2. 1 5 2 3, 2. 3 3 9 2
	<角川>分類名称:分類番号	はう・いざるなど : 3 0 7 b
	意味分類	動作 (動き) , (状態) 変化, 移動 (位置変化)
形態情報	活用	五段
	語幹	h a w
	自他の区別	自
	派生可能	はえる
	派生使役	はわす
	転成その他	はいはい, -ばい (横ばい)
統語情報	文型	N 1ガ (N 2ヲ) (N 3カラ) (N 4ニ/ヘ)
	述語素	L S 1, L G 1 / D R 1, S P, A
	格形式1[意味素性1]名詞句1	N 1ガ [H U M / A N I] 赤ちゃん/蛇
	格形式2[意味素性2]名詞句2	N 2ヲ* [L O C] 部屋、道路、壁、草むら
	格形式3[意味素性3]名詞句3	N 3カラ* [L O C] こちら、西
	格形式4[意味素性4]名詞句4	N 4ニ/ヘ* [L O C] あちら、東
	文例 1	蛇が 床を 這っている。
ヴォイス	サセ形(態1)	二使役
	ラレ形(態2)	間受, 尊敬
	タイプ	中動
テンス・アスペクト	ル形	未来
	テイル形	進行
	その他の形式	テシマウ, カケル, ハジメル, ダス, ツツケル
ムード	命令形	×
	意志形	推量
	その他の形式	×
	タイプ	1
	マスナイ	マス, ナイ
備考 1		腹部を地面や床などにつけて、手とひざ・足等で少しずつ進む場合「匍う」も使える。 表記は『学研』、『例解』では「這う」のみ。

はう	サブエントリ番号- #02	
表記		這 (は) う
分類		重要動詞 1 2 1
意味情報	意味記述	植物が地面・壁面などに沿って伸びる。

	上位語	伸びる
	類義語	つたう
	<国分>分類名称:分類番号	走り・飛び・流れなど：2. 1523
	<角川>分類名称:分類番号	はう・いざるなど：307b
	意味分類	動作（動き），（状態）変化，接触，設置（とりつけ）
形態情報	活用	五段
	語幹	h a w
	自他の区別	自
	派生使役	はわす
統語情報	文型	N 1ガ N 2ニ
	述語素	L L 1, O 1
	格形式1[意味素性1]名詞句1	N 1ガ [P L A / P A R] つた、アイビー／朝顔のつる、木の根
	格形式2[意味素性2]名詞句2	N 2ニ [L O C] 壁、窓、地面
	文例 1	つたが 壁に 這っている。
ヴォイス	サセ形(態1)	ヲ使役
	ラレ形(態2)	×
	タイプ	中動
テンス・アスペクト	ル形	未来
	テイル形	結果残存
	その他の形式	テシマウ, カケル, ハジメル, ダス
ムード	命令形	×
	意志形	推量
	その他の形式	×
	タイプ	1
	マスナイ	マス, ナイ
備考 1		『三国』によれば「匍う」とも書く。
備考 2		文末ではテイル形が多い。
